



ヤシャブシ (落葉樹) 区域A . C . L 25本

先駆植物で攪乱地に真っ先に入る。根粒菌室素固定を行なえるので、どのような土壌でも生育できる。また葉、枝には窒素が豊富に蓄積されているため土壌改良効果が高く、腐食層の形成に適している。



ヤマボウシ (落葉樹) 区域E 10本

山地における代表的な夏緑広葉樹で、美しい新緑の景色を生み出すだけでなく、春には純白な花をつけ、秋には美味しい赤い実をつける。ハイカーが喜ぶ樹種である。



ヤマハンノキ (落葉樹)

区域A . B . C . F . J . L 25本

ヤシャブシ同様先駆植物で、根粒菌室素固定を行なえるので、どのような土壌でも生育できる。葉がヤシャブシよりも大きく土壌乾燥を防ぎ、緑化に適している。



ヒュウガミズキ (落葉樹) 区域D 25本

春、葉が出る前に黄色の小さな花が無数に咲き出し早春の景色を生み出す。枝が箒状に広がるので残存物の目隠しとしても用いられる。



ウバメガシ (常緑樹) 区域G . H . J 70本

特徴：潮風、乾燥に強く、強剪定にも耐えうる。また備長炭の原料にもなるため、ここでの植栽が成功すれば将来産業資源としても使用可能である。



シャリンバイ (常緑樹) 区域B . E . H. 70本

潮風、乾燥に極めて強い樹木で、大丸山の倒木伐採地は現在乾燥化に向かっているため、適地となるだろう。またサクラの後に咲く花はハイカーの目を楽しませてくれる樹木でもある。

ケヤキ（落葉樹） 区域K 10本



扇状に広がる幹に膨大な量の葉をつけるので、海からの風を弱める役目を持つ樹木として植栽する。また多量の落葉が腐食層の形成に貢献するので涵養水源の役割も有することになる。

シラカシ（常緑樹） 区域K 5本



比較的乾燥には弱いが檜類の中で一番寒さに強い樹木である。根が深根性で直根なので土壌を固定し土砂崩壊を防ぐ。幹が太くなる常緑樹であるため年間を通じて後方の植林地に対して防風の役割を果たす。

イチイガシ（常緑樹） 区域K 10本



檜類の中で比較的成長が早く、根が深根性で直根なので土壌を固定し土砂崩壊を防ぐ。幹が太くなる常緑樹であるため年間を通じて後方の植林地に対して防風の役割を果たす。

センダン（落葉樹） 区域W 3本



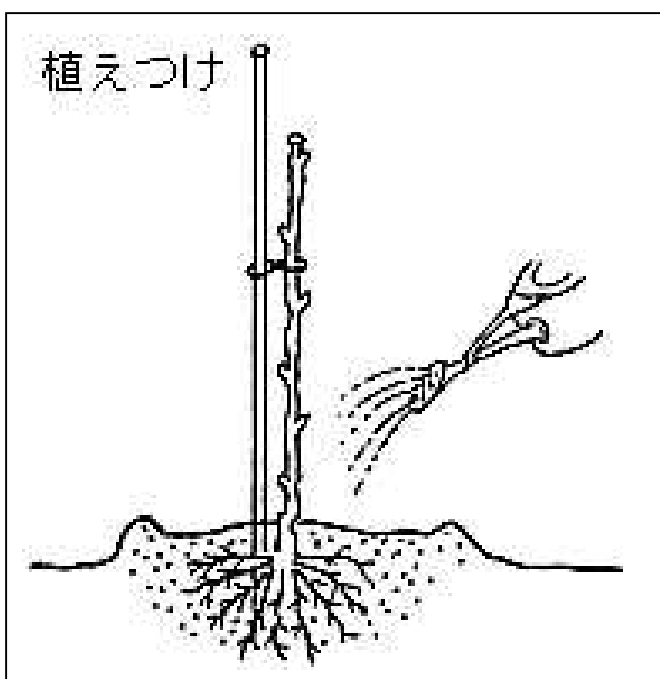
成長が早く大木になる。花が美しく香りも良いので街路樹や公園木としても使われている。開花は5月~6月で霞がかかったようで美しい景観が生み出される。

苗木を植えるときの順番です。

1. 苗木についている番号と植える場所の番号が同じか確かめる。
2. シャベルで40cmぐらい穴をほる。
3. 苗木にしばってある黒いヒモ（あとで支柱にしぼるヒモ）をほどいてビニール袋の肥料を穴の中にまいて、掘った土を半分ぐらいかける。

肥料に入っている炭は、苗木の根っこがよく成長するようにする「やわらか竹炭」です。（提供：森のボランティア）

4. 苗木をポットから出して穴の真ん中に置く。掘った土を全部もどして、苗木を少し上に引っ張る。木の根元が出るくらい。深く埋めないこと。
5. 支柱を立てて、黒いヒモで苗木と支柱を「8」の字にしぼる。強くしぼらない。
6. 苗木に水をたっぷりあげる。
7. 植える場所の番号がついている細い竹とビニール袋、苗木ポットを「受付」に持ってきてください。



「緑の募金」は森林づくりを通して地球温暖化防止に役立っています！